

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

***富田さんの記事に1917年のブラッシャー天体写真儀の写真発見**

国立天文台天文情報センター・アーカイブ室の活動で、昭和20年(1945年)2月8日未明の東京天文台本館の火災で失われたものと思われていた戦前のブラッシャー天体写真儀に天体星野写真が発見された。発見された星野写真の中にオリオン大星雲があり非常にきれいなので印象的であった(写真1)。この写真が1997年天文ガイド「インタラクティブ」Vol. 998, 1997に掲載されているのを発見した(写真2)。

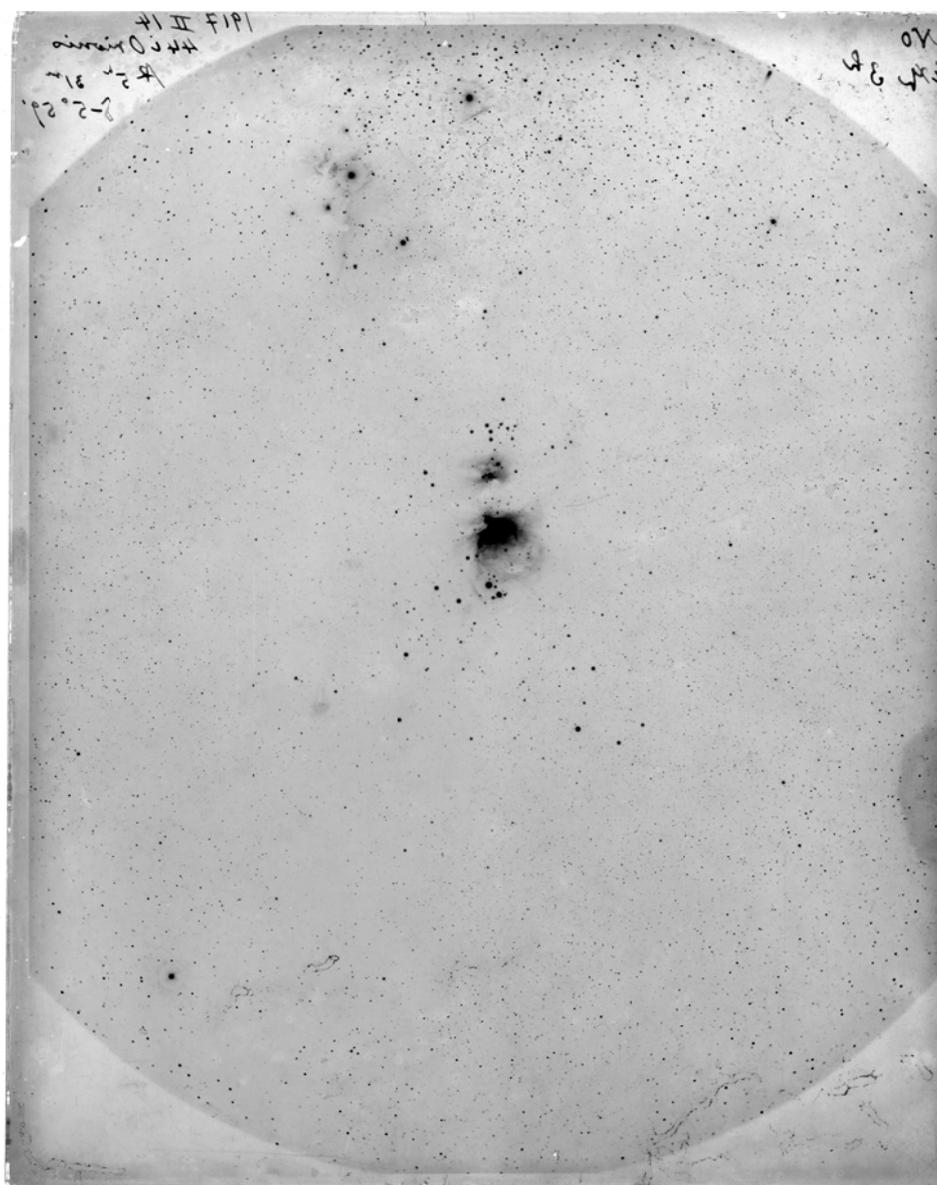


写真1 ブラッシャー天体写真儀によるオリオン大星雲

天文ガイド・インタラクティブ Vol.9 の 75 ページには富田氏による以下の文がある。「極めつきは 1945 年 2 月 8 日早暁の本館の火災です。それまでに蓄積した天体写真原板は殆どすべて、実験器具、測定機と共に焼失しました。麻布にあった写真原板も、前年に三鷹に移して広瀬が整理を完了したばかりでしたが、灰となりました。そのまま麻布にあったとしても、同年の 5 月の戦災で同じ運命になったことでしょう。焼け落ちるのが少し遅れた研究室から、広瀬が危険をおかしてやっと持ち出したのは、少数の写真原板、小型座標測定機、ボン星図などにすぎませんでした。」

2012 年のアーカイブ室の活動で発見されたブラッシャー天体写真儀による星野写真乾板は 441 枚であった。これらが広瀬氏によって持ち出された少数の乾板であったとは考えにくい。

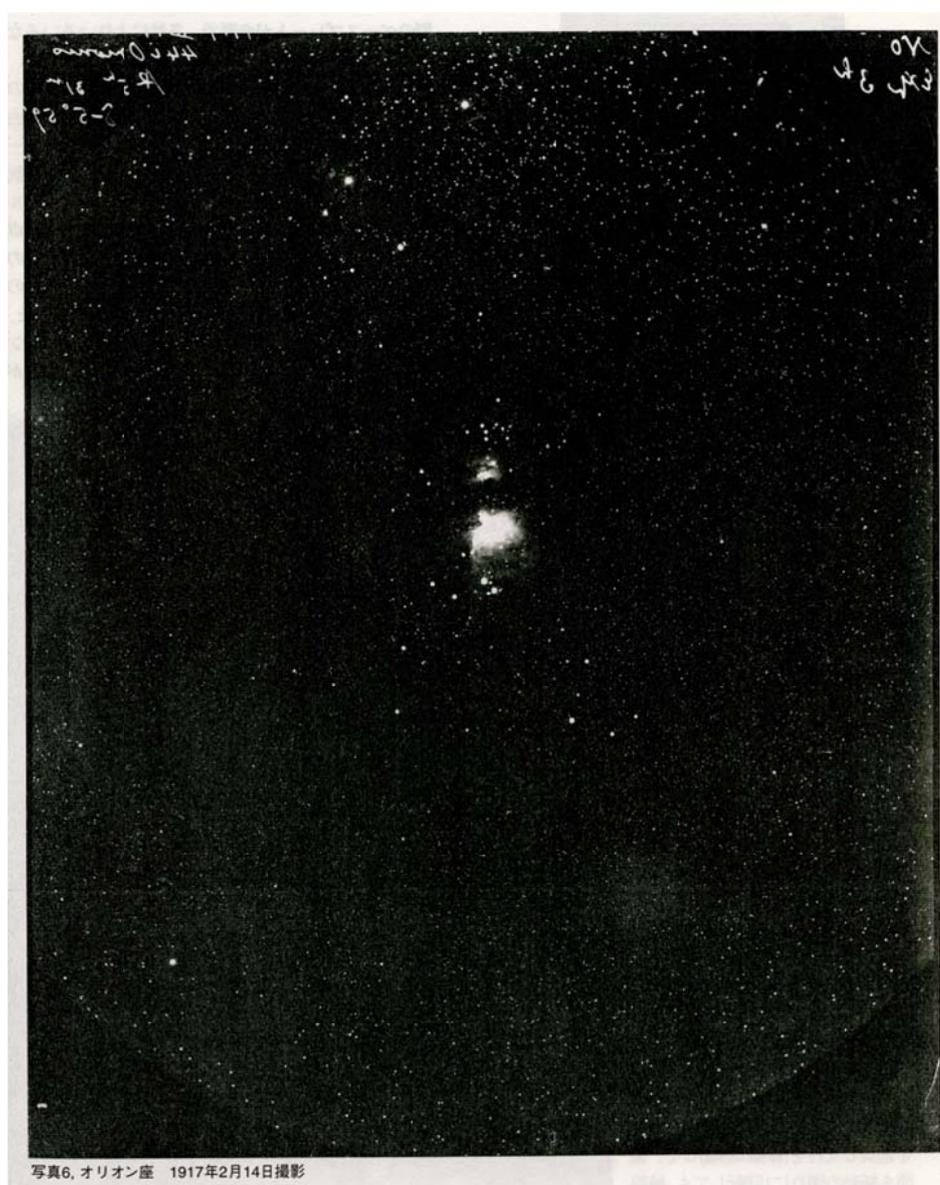
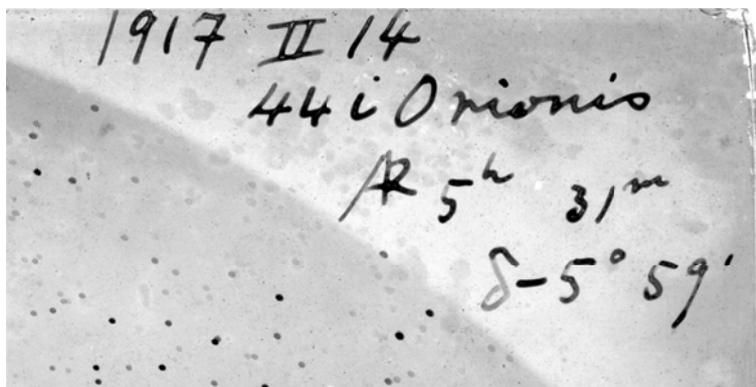


写真2 天文ガイドインタラクティブに掲載されたオリオン大星雲の星野

写真1、2は、明らかに同じ写真であり、写真2は、写真1の原版からプリントされたものである。撮影月日は1917年2月14日である（写真3）。



富田氏がこの記事を書いた1997年に、氏はこの写真のプリントを持っていたのであろう。あるいは原版の所在を知っていてプリントしたのであろうか。それは考えられない。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp